重要 **ボートスピードに大きく影響します。御熟読下さい。**

2010 年以降発売のセールに該当するインストラクション

ボルトロープの扱いについて

2010 年より　すべてのワンデザインクラスのメインセールに　新しい伸縮性新素材のボルトロープを採用しています。従来の繊維製のロープが環境（気温、湿度）や時間の経過に伴ってシュリンク（縮み）が起こり、そのためセール入手後たびたび、長さの調整をしなくてはなりませんでした。

新しく採用するロープは繊維ではないため　シュリンク (縮み) することがなく、且つ　自在な伸縮性のために、カンニンガムの働きをより有効にし、セールシェイプのコントロールを容易にします。　このロープの採用に当たって、注意事項がありますので、下記のインストラクションに従って、適切にセールをセットしてください。

ロープはショックコードのように伸縮性があるため、セールはロープによってラフが縮められた状態で作成されています。従って、カンニンガムを使用しない 6m/s 以下の風域でもカニンガムを引いて、メインセールのタックの位置を適切にセットすることが必要です。写真の例に従って、適切な量のカンニンガムのテンションを入れるようにしてください。

ラフに沿った皺の量によってセールのシェイプが変化しますので大変重要です。

カンニンガムを使用する風域での使用方法は以前と変わりません。

メインセールブラックバンドまで上げた状態。
(photo1 参照) タックのコーナーが高い状態です。

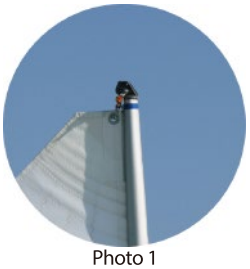

Photo 1

カニンガム オン

カニンガムだけをひくと、タックとカニンガムの間に凹凸が生じ、正しいタックの高さでないので、カラーバンド上端からの正確な距離がわかりません。タックとカニンガムの間を平らにするためにタックを下げてください。

タックダウン

適正なタックコーナーの位置

タックとカンニンガムの間のエリアが凹凸がないよう、タックロープを下に引き降ろし、このエリアを平らにします。タックのコーナーが、カラーバンド上端より 2-3cm 上に位置するようにする。さらにタックのコーナーはマスト後面から 2cm の距離にセットしてください。